

社会福祉法人 山麓会 令和6年度事業報告

【はじめに】

令和6年度介護報酬改定により改定率は+1.59%、6月の処遇改善加算の一本化と8月の基準費用額（居室料+60円）により合計して+2.04%相当の改定になりました。しかし、保険者が四條畷市になった事で地域区分の上乗せ割合が-3%になり、ヘルパーステーション清滝らくらく苑を5月末に廃止した事で、当初予算では、令和5年度よりも事業活動収入は減収、賃上げや物価高と燃料費の高騰により事業活動費は増額としていましたが、各事業所が安定してサービスが提供できたことや加算の取得、8月に食費の値上げ（+60円）、取引先の見直しや9月から給食の提供方法の変更、時間帯別で節電を行ったことにより、令和5年度と比較して収入増、支出減となりました。建物の老朽化による設備や備品の故障は、修繕不可となるケースが多くあり、新しく入れ替えを行ったことで、器具備品取得支出は増額となりましたが、長期的に安心して使用できる事や、業務の効率化が図られた事もあり、必要な支出となりました。職員ひとり一人が柔軟な考え方とこのような取組に理解していただいた事で、業務改善ができ経費削減に努められました。

人材不足の課題は少しずつですが改善に努めた1年になりました。人材採用は、特定技能1号の受入れを増やした事や、「求人掲載サイトタイミー」からの採用、介護補助の拡大等の取り組みを行いました。更に、大阪府 ICT 導入支援事業補助金より清滝特養にはタブレット、大阪府介護ロボット導入支援事業補助金より、南野には介護移乗ロボット Hug と特殊浴槽、雨塚には、介護移乗ロボットサスケと食器洗浄機を導入できた事で、生産性向上に努め業務の効率化を進めていく事ができました。まだまだ課題は多くありますが、職員の働きやすい環境を整備していく事で、離職防止に努め、新たなテクノロジーを導入し生産性向上に努めていきます。又、公益財団法人 JKA 様の競輪の補助事業より、清滝特養には特殊浴槽の更新、一般社団法人 廣和・博子会（(株) 島本保険事務所）様より、電動自転車の整備事業として、電動自転車を増台しました。今後も、補助金についても上手に活用できるように取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症に対しては、年末～2月にクラスターが発生しました。職員と面会者、出入り業者様には、マスクの着用と手指アルコール消毒の協力をお願いしていますが防ぐ事はできませんでした。日常生活上、感染症はやむを得ないと考えていますが、ご利用者は免疫が低下している事で重症化するリスクが高い事から、初期対応を徹底し二次感染を防ぐ事が重要な為、感染症研修を重ねて職員の意識を高めていきます。

令和6年度は介護報酬改定等があり山麓会でも多くの取組みを行った1年でした。時代の流れにあった柔軟な考え方と行動が事業の安定に繋がっていると思います。今後もより一層に情報収集力を高めていき、職員と法人の安定に努め、ご利用者が安心して安全に生活ができるように取り組んでまいります。

【消防訓練報告】

訓練内容	実施日
防災訓練 (通報訓練・避難訓練・ 消化訓練・「水消火器使用」) 【消防署職員派遣】 火災・夜間想定	11 月 (清滝・南野・雨塚)
自主防災訓練 (避難訓練) 地震等災害対策	1 月 (清滝・南野・雨塚)
自主防災訓練 (避難訓練) 火災・日中想定	1 月 (清滝・南野・雨塚)

【法人全体会議及び委員会報告】

内容	実施日
安全衛生委員会 (産業医)	毎月第 1 金曜日
特養入居判定会議	毎月第 1 金曜日
在宅会議	毎月第 1 金曜日
給食会議	毎月第 3 水曜日
広報委員会	毎月第 3 水曜日
人事考課会議	1 月
運営会議	毎月第 1 金曜日

【実習生の受入報告】

日程	学校名	実習内容	人数
6/11～6/27	四條畷学園大学看護学部	老年看護実習	34 名
10/14～11/13	大阪総合福祉専門学校	介護福祉士実習	3 名
8/16～9/20 2/17～3/17	東大阪大学短期大学部	介護福祉士実習	5 名
前期 5/6～7/12 後期 10/11～11/17	大阪府社会福祉協議会 ・大阪電気通信大学 ・大阪産業大学 ・東京未来大学	介護等体験実習	前期 27 名 延べ日数 135 日 後期 4 名 延べ日数 22 日
8/21～8/29	大阪国際大学	公認心理師実習	5 名
8/19～	北大阪福祉専門学校	介護福祉士実習	1 名
5/1～3/28	日本メディカル福祉専門学校	社会福祉士実習	3 名

特養・短期入所部門

《結果》

法人全体のショートステイの稼働率は、前年度より7%上回りましたが、特養3施設は入院からの退所、長期入院や繰返しの入院が多く、ショートステイでの空床利用や入所相談に来苑された方や医療機関等からの問合せに早期対応を行い、入所候補者獲得や入所に繋げる事ができましたが、入院からの退所者や新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、受け入れを中止、調整することにより稼働率に影響を与え、法人全体で稼働率96.5%の目標に対し稼働率93.1%の結果となってしまいました。

施設見学等で来苑された方の中には、初めて介護保険サービスを利用される方もあり、特養だけでなく各事業の話をさせていただき、山麓会の事業を知っていただく事ができました。

《目標達成のための行動報告》

- ① 算定要件や取得可能な加算の情報収集を行い、取得した加算申請データを紙ベースで保存を行い、加算取得が可能となれば、スムーズに申請が出来るように対応した。
- ② 入所候補者のご家族や事業所への丁寧な対応で、ご家族との信頼関係を築き早期に入所に繋げた。
- ③ 入所申し込み者の入所時期、意向を確認し、早期の希望でなければ、ショートステイ、デイサービスの案内等も行い、同法人内サービスに繋げた。
- ④ 施設ケアマネと連携を取り、ご利用者の入院期間中を空床利用でショートステイの受入に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、長期の感染対応になり受入が難しい状況があった。
- ⑤ 医療機関や老健、居宅介護事業所への定期訪問を継続し、入院、老健入所等により、休止しているご利用者の情報を待つのではなく、居宅ケアマネジャーに状況確認を行い、再利用に繋げ、居宅ケアマネジャーとの関係性の構築が出来た。
- ⑥ 施設見学等で来苑された方に丁寧な対応を行い、気軽に相談ができる関係性の構築が出来た。

医務部門

《結果》

体調の変化を素早く察知し、嘱託医の診察や受診に繋げることは出来たが、入院になることも多かった。

《目標達成のための行動報告》

- ① 早期に嘱託医の診察や病院受診ができるようケアマネジャーや主任との連携は行っていた。
- ② 特に夜間の急変時対応については、ドクターメイトの導入により、安心かつ安全に対応出来ていた。
- ③ 感染マニュアルが上手く活用できておらず、雨塚ではインフルエンザ、南野では新型コロナ

ナウウイルスのクラスターが発生した、再度感染対策について指導を行った。

- ④ 職員に対し、健康診断の結果で、必要に応じて清滝らくらく苑診療所や病院受診を勧めた。

【会議】

会議名	開催日程
医務会議	3月11日雨塚・3月26日南野

栄養部門

＜結果＞

ご利用者の食事に対する満足度を上げ、栄養状態の向上に努めた。令和6年5/1時点と令和7年3/31時点でのアルブミン値、体重、BMIを比較するとそれぞれ、 $3.40 \rightarrow 3.43 \text{g/dL}$ 、 $45.13 \rightarrow 46.36 \text{kg}$ 、 $20.96 \rightarrow 20.06 \text{kg/m}^2$ と維持または向上する結果となった。栄養状態や口腔衛生状態を維持・改善することで、体調を安定させ、入院を減らすことに努めた。

＜目標達成のための行動報告＞

- ① 食事委託会社と給食会議（ミーティング）や日常的に連絡を取り、厨房職員とともに安定した食事提供に努めた。契約期間などに関わらず、フェアなどで情報を得て、食事委託会社については常に検討を行った結果、令和6年9月からクックフリーズ方式での給食を提供することとなった。メニューのバリエーションが増え、各事業所や厨房職員とのより密な連絡調整が必要となり、対応した。
- ② デイサービスの日曜営業日には冬場の鍋行事やおでん行事については材料の仕込み、調理・配膳、外注弁当を注文した際にも、味噌汁の提供や、トレイメイクなどの協力を行った。各事業所、各ユニットの食事が関連する行事にも協力を行った。
- ③ 栄養状態の維持・改善のために各事業所へ施設栄養士が行く機会を増やしたかったが、給食業者の変更に伴う業務もあり、なかなか行くことができなかった。ユニット会議やクラスター発生時などの限定的なときのみとなった。
- ④ 栄養マネジメント強化加算、科学的介護推進体制加算の算定を開始したかったが、③と同じく、給食業者の変更に伴う業務や、日々の食事の安定提供に努めた結果算定を行うことができなかった。他施設の栄養士との交流を通じて情報収集を行うのみとなった。
- ⑤ 介護補助業務の仕組み作りについては、給食の提供方法が大きく変わり、厨房職員の業務が忙しくなった為、介護補助をする人材まで確保できていない。今後への課題となった。

特別養護老人ホーム 清滝らくらく苑

《結果》

LIFE の運用に至りませんでしたでしたが、来年度の導入に向けて、体制を整える事ができました。外国人雇用の定着も一定の成果を残す事ができました。感染症対策を適時見直し、事故対策、個別ケアと多職種連携に努めてきました。しかし、インフルエンザ・新型コロナ感染症・骨折事故での入院や、入退院を繰り返しておられる方を医療機関へ引き継ぐ事が難しく、入院に伴う空床が増え、施設運営に影響を与える結果となってしまいました。

《目標達成のための行動報告》

- ① サービスの質の向上・加算取得に向けた、LIFE 導入には至りませんでしたでしたが、職員の業務負担を見直し、役割と責任の明確化、人員配置と業務の適正化、時間管理を行い、導入に向けて体制を整える事ができました。
- ② 多職種と連携し、健康管理・事故対策・感染対策に努めてきましたが、入院者延べ人数は昨年より 11 名増加、入院空床は年間で 169 床増加しました。インフルエンザ・新型コロナ感染症による入院者数の増加（3 名・65 空床）骨折事故の入院者（2 名・15 床）2 名のご利用者が年間約 3 分の 1 程度（250 床）入退院を繰り返しておられました。7 名で全体の約 3 割に上る入院空床になりました。身体状況に合わせて、早期に医療機関へ引き継ぐ判断と、重大事故の予防対策、年間を通じた感染症対策に課題が残るかたちとなりました。
- ③ 外国人雇用が特養で 3 割強に上り、職員定着は一定の成果を残す事ができました。ただ、組織の戦力になるまでには時間を要し、サービスの質を求めるには、OJT 教育手法が課題となりました。

【委員会・勉強会・会議報告】

委員会名	開催日程
事故・安全対策委員会 (勉強会)	毎月開催 第 3 月曜日 (毎月委員会開催) 9 月第 3 日曜日・3 月第 3 日曜日 (新規採用時・研修)
安全委員会 (勉強会)	毎月開催 第 1 金曜日 (毎月委員会開催) 6 月第 3 日曜日・8 月第 3 日曜日・10 月第 3 日曜日・2 月第 3 日曜日・3 月第 3 日曜 日 (研修)
身体拘束廃止委員会 (勉強会)	5 月・7 月・10 月・1 月 第 4 月曜日開催 (年 4 回委員会開催) 7 月第 3 日曜日・1 月第 3 日曜日 (新規採用時・研修)
高齢者虐待防止	6 月・12 月 開催 第 4 月曜日 (年 2 回委

(勉強会)	員会開催) 6月第3日曜日・12月第3日曜日 (新規採用時・研修)
人権擁護委員会 (勉強会)	9月・3月 開催 第3日曜日(年2回委員会開催) 第3日曜日(研修)
感染予防対策委員会	5月・8月・11月・3月 開催第3水曜日 (年4回委員会開催) 5月第3日曜日・11月第3日曜日 (新規採用時・研修) 8月第4日曜日・2月第4日曜日 (訓練)
褥瘡予防委員会	5月・8月・11月・3月 開催3水曜日(年4回委員会開催) 5月第3日曜日・11月第3日曜日 (研修)
BCP(事業継続計画)	4月(新規採用時・研修) 8月第4日曜日・1月第4日曜日 (訓練)
介護サービス委員会	第1金曜日(毎月開催) 3カ月に1回提出
特養会議	第1金曜日
リーダー会議	第1金曜日
西2丁目ユニット会議	第2土曜日
東3丁目ユニット会議	第2月曜日(14:45~16:00)
西3丁目ユニット会議	第3木曜日(14:45~16:00)
南3丁目ユニット会議	第2金曜日(14:45~16:00)
東4丁目ユニット会議	第2金曜日(13:30~14:45)
西4丁目ユニット会議	第3木曜日(13:30~14:45)
南4丁目ユニット会議	第2月曜日(13:30~14:45)
医務会議	4月・7月・10月・1月開催 第3水曜日

【研修報告】

内容	実施月
認知症及び認知症ケア	4月21日
緊急時対応の理解	4月21日
プライバシー関係	5月19日
口腔衛生に関する研修	5月8日
緊急時の対応に関する研修	6月16日

感染拡大防止研修（外部）	6月21日
身体拘束の排除に関する研修 教育委員会（新人研修） リーダー研修	7月21日 7月23日、24日 7月29日
コンプライアンス研修・口腔衛生管理研修 （法令遵守及び倫理）	8月18日
事故の発生、予防、再発防止に関する研修 人権擁護	9月16日 9月14日
非常災害の対応 教育委員会（新人研修）	10月20日 10月29日、30日
医感染及び食中毒の発生及びまん延の 防止に関する研修 口腔衛生管理研修	11月31日 11月27日
医療に関する教育研修 ターミナルケアに関する研修 精神的ケアに関する研修	12月31日
介護予防、褥瘡に関する研修 高齢者虐待防止研修（外部）	令和7年1月31日 1月22日
ハラスメント防止に係る研修 新人指導研修	令和7年2月31日 2月23日
事故の発生など緊急時対応に関する研修 人権擁護	令和7年3月31日 3月16日

【行事報告】

	全体行事	ユニット行事等（適宜）
8/11	納涼祭	誕生日会（5/7 西4） 誕生日会（5/20 南4） 誕生日会（6/30 東3） 誕生日会（7/21 南3） 誕生日会（7/29 西4）
9/22	敬老会	誕生日会（9/6 西4） 誕生日会（9/22 東3） 誕生日会（9/29 南3） 誕生日会（10/2 西4） 誕生日会（10/27 東3）
12/22	クリスマス会	誕生日会（12/6 南4）

12/27	餅つき	誕生日会（12/13 西4）
1/19	正月行事（初詣）	誕生日会（1/31 南3）
2/2	節分（豆まき）	誕生日会（2/15 西4） 誕生日会（2/16 東3）
3/2	ひな祭り	誕生日会（3/7 南4）

地域密着型介護老人福祉施設 南野らくらく苑

《結果》

『尊厳の保持』と『自立支援』は研修などを通して理解し、ケアに反映できている職員もいる。全職員の理解までは出来ておらず勉強の継続は必要である。

ご利用者と職員が笑顔で過ごせる施設を目標としているが、職員の人員不足もあり業務に追われて慌ただしい雰囲気があった。ゆったりとご利用者にかかわる事ができる環境整備が課題である。

《目標達成のための行動報告》

- ① 研修ビデオの活用は業務時間を調整しやすく、有効に研修ができた。今後は多くの職員が意欲的になるように活用していきたい。
- ② ご利用者の日常生活を見守りコミュニケーションをとりながら、見えないニーズの把握に努め、担当者会議を開催し個別ケアに取り組めたが、まだまだ足りない部分が多いと感じている。
- ③ 職員が少なく、簡単なイベントになる事もあったが、職員各々が得意分野を発揮して行事やレクリエーションを行いご利用者に楽しんで頂けた。
- ④ 多職種で情報を共有し相談をして対応する事が出来た。個人差があり多職種連携を難しく感じている職員も少しいる様子である。全職員がしっかりと連携をとれるようにしていく。

【委員会・勉強会・会議報告】

委員会名	開催日程
事故対策委員会 (勉強会)	毎月第2火曜日 (8月・2月)
身体拘束委員会 (勉強会)	4月・7月・10月・1月 (7月)
高齢者虐待防止委員会 (勉強会)	6月・12月 (12月)
感染対策委員会 (勉強会)	5月・8月・11月・2月 (5月・11月)
褥瘡委員会 (勉強会)	9月・3月 (11月・5月)

特養会議	第 1 金曜日
リーダー会議	第 3 金曜日
ユニット会議（うめ・さくら・もも）	第 2.第 3 月曜日・第 2 木曜日
運営推進会議	奇数月 第 2 金曜日

【研修報告】

	法定研修	内部研修
4/20.23	倫理及び法令遵守について	4/17 BCP 研修 4/24 口腔衛生に関する研修
5/7	事故発生または再発防止について	5/28 誤嚥性肺炎と食事の支援の考え方
6/9	プライバシーの保護の取り組みについて	7/23. 24 新人研修 7/29 リーダー研修
8/28.29	身体拘束及び高齢者虐待について	8/22 BCP（訓練）
9/27	緊急時対応について	9/10 人権擁護
10/27	精神的ケア	10/29.30 新人研修
10/3	医療に関する研修	
11/29	認知症及び認知症ケアについて	11/27 口腔衛生管理研修
12/13	感染症・食中毒の予防及び満船防止について	
1/20	非常災害の対応について	
3/15	ターミナルケア	3/19 人権擁護

【行事報告】

	全体行事	ユニット行事（適宜）
4/1	花見	誕生日会（5/3 もも）
24	たこ焼きパーティー	誕生日会（6/30 もも）
7/30	納涼祭	誕生日会（7/7 もも）
9/17	敬老会	誕生日会（8/18 さくら 8/25 うめ）
11/11	さつまいもご飯	誕生日会（9/22 もも）
12/22	クリスマス会	誕生日会（10/6 さくら）
1/26	初詣	誕生日会（11/9 もも 11/24 うめ）
2/2	節分	誕生日会（12/22 うめ）
3/2	ひな祭り行事	誕生日会（2/16 うめ） 誕生日会（3/21 さくら 3/30 もも）

地域密着型介護老人福祉施設 雨塚らくらく苑

<<結果>>

毎月のユニット会議で利用者の状況を確認し、情報共有して ADL 変化に対応し、チームケアに努めている。体調不良時には多職種で共有し、早期治療につなげ、レクリエーションや行事を多く取り入れることで、生活に刺激を与え、長く暮らしていけるように努めた。

ユニット会議後に内部研修を実施し、知識習得や介護技術向上に取り組めた。

昨期は延べ 50 名/年の入院に対し、今期は 49 名/年の入院になっている。また、退所者は昨期 13 人に対し、今期は 15 名と増加し、稼働率は（昨期：89.5%→今期：90.3%）横ばい又は上昇しています。入院等で空床発生時にはショートステイを積極的に受け入れに取り組んだ。今期は市役所に届出が必要な重大事故（骨折等）が 2 件発生した。

<<目標達成のための行動報告>>

- ① 長く生活して頂く為に体調変化を見逃さない様に気を配り、体調変化時には多職種と連携を図り、申し送り、対処または早期受診に努めている。各個の身体状況に合わせて環境整備（手すりの設置、歩きやすい、または車椅子の動線確保）、個々の能力に応じて日常生活の中に体を使う場面を意識的に取り入れ運動量を増やすことを行い QOL 向上の一助としている。毎月、ユニット会議を開催し、利用者の理解を深め、情報共有を行っている。今期末より LIFE を導入し、科学的介護推進を取組始めた。
- ② 毎月のユニット会議後に各職員のスキル向上・最新情報入手の為、勉強会を実施しモチベーションの向上に努めている。
- ③ 定期的なイベントの他に誕生日会やおやつ行事等を行い楽しんでいただく様にしている。定時に歌謡曲や体操動画を流すレクリエーションを行う習慣づけし「楽しみ」や「身体を動かす」環境を提供出来始めている。また、日常生活の様子をブログに掲載し、来苑しにくいご家族にも見て頂けるように取り組んでいる。

【委員会・勉強会・会議報告】

委員会名	開催日程
事故対策委員会 (勉強会)	毎月第 2 火曜日 (8 月・2 月)
身体拘束委員会 (勉強会)	4 月・7 月・10 月・1 月 (7 月)
高齢者虐待防止委員会 (勉強会)	6 月・12 月 (3 月)
感染対策委員会 (勉強会)	6 月・7 月・10 月・1 月 (4 月・10 月)
褥瘡委員会 (勉強会)	9 月・3 月 (11 月・5 月)

特養会議	第 1 金曜日
リーダー会議	第 1 金曜日
ユニット会議（あやめ・れんげ・すみれ）	第 2・3・4 金曜日
運営推進会議	奇数月 第 2 金曜日

【研修実施報告】

	法定研修	内外部研修・勉強会（参加人数）
4 月	4/4 倫理及び法令遵守について	接遇マナー4/11(3) BCP4/21 (5) 口腔ケア 4/24 (4)
5 月	5/12 事故発生または再発防止について	身体拘束 5/4(5), 5/21(5), 5/22(4) 安全対策担当者養成研修（外部:1） 完全解説!!2024 年度介護報酬改定と対応策【特養・GH 編】 5/8（外部:1）
6 月	6/2 プライバシーの保護の取り組みについて	摂食嚥下について 6/4 (5) 感染症 6/26 (7) 褥瘡予防 6/10(6), 6/23(5), 6/26(7)
7 月	7/23 倫理及び法令順守について	高齢者虐待防止 7/15(6),7/19(4),7/27(3) 高齢者虐待対応力向上研修 A 研修 7/16 (外部:1) リーダー研修 7/29(4)
8 月	9/8 身体拘束及び高齢者虐待について	感染症 8/21（訓練:4） 事故防止 8/13(7), 8/21(5), 8/31(2) BCP8/4（訓練:4）
9 月	9/6 医療に関する研修	
10 月	10/11 緊急時対応について	施設ケアマネジメントの本質を学ぶ 10/4（外部:4） 職員を辞めさせないマネジメント令和時代の介護職員の育て方!! 10/24（外部:1）
11 月	11/2 認知症及び認知症ケアについて	監査にしないための運営指導対応ポイントとは 11/7（外部:1） 口腔衛生管理研修 11/27 (5)
12 月	12/22 感染症・食中毒の予防及び満船防止について	感染 12/22 (3) 身体拘束廃止ゼロ推進委員養成研修 12/16 (6) 褥瘡予防 12/9(4), 12/21(5), 12/26(3)
1 月		高齢者虐待防止 1/16(4), 1/22(2), 1/30(3) 1/22 身体拘束廃止ゼロ推進委員養成研修（外部:2） 1/17 高齢者虐待対応力向上研修 B 研修（外部:1） 1/21 メディカルケアマネジャー研修（外部:1）
2 月	2/19 非常災害の対応について	事故防止 2/14(6), 2/16(5), 2/25(6)

	2/25 精神的ケア 2/25 緊急時の対応について	2/19BCP（訓練:6） 2/26 認知症のリハビリテーション（外部:1）
3 月		身体拘束 3/15(6), 3/21(7), 3/22(5) 3/19 感染症（訓練:2）

【行事報告】

	全体行事	ユニット行事等（適宜）
4 月		誕生日会(4/24 すみれ)
6 月		誕生日会(6/7 れんげ)
7 月	7/14 七夕行事	
8 月	8/10 納涼祭	誕生日会(8/28 れんげ)
9 月	9/16 敬老会	誕生日会(9/19 すみれ、9/27 あやめ)
10 月	10/24 苑遊会	誕生日会(10/21 れんげ、10/30 あやめ)
11 月		誕生日会(11/6 すみれ、11/24 れんげ)
12 月	12/20 クリスマス会	
1 月	1/6 初風呂	誕生日会(1/18 あやめ、1/30 れんげ)
2 月	2/1 節分行事	誕生日会(2/4 すみれ)
3 月	3/3 ひな祭り	誕生日会(3/30 すみれ、3/22 れんげ、3/18 あやめ)

デイサービスセンター 清滝らくらく苑

《結果》

令和 6 年度は、地域区分 4 級地への変更や職員不足が大きな課題であった。

地域区分の問題は大きく影響することなく、収益として大きくプラスの結果が出せた。

人員不足は、後半タイミーの活用で必要な日時にポイント的に就労して貰え、またタイミーから直接雇用にも繋がった。毎月の第三日曜日の行事も毎回盛況で、ご利用者からも満足の声を頂いた。さらにボランティアの受け入れをしたことで、地域、外部の方々に山麓会を多く知って頂くことができた。

《目標達成のための行動報告》

- ① 令和 6 年度介護保険制度改定、及びくすのき広域連合解散による、地域区分 4 級地への変更などがあったが、延べ利用者人数が増えたこと、認知症加算とサービス提供加算Ⅲの取得により収益アップに繋がった。一方で人員不足の日多くあったため、職員のバックヤード業務の時間が足りず、残業が増えた。
- ② 稼働率 80%（通常規模の維持=要介護 1～要介護 5 の延べ人数が月平均 30 名）目標に対し

て、実際は職員の退職による人員不足が原因で新規利用者の受け入れを一時中断していた時期もあり、稼働率 73.8%と目標に満たなかったが、収益は大幅にアップした。

- ③ 認知症加算のため、毎月のデイ会議において加算を算定しているご利用者から、2 名ずつ選出し個別な認知症ケア検討を行った。
- ④ 毎月の利用実績、ご利用者の様子などを居宅事業所に持参し営業活動を行った結果、定期的に体験利用の依頼があり、利用契約にもつながったケースが多数あった。
- ⑤ デイサービス職員が送迎時など他事業所サービス（訪問介護、訪問看護等）との連携が円滑に行えるよう、相談員が担当ケアマネジャーと細かく連絡を取り、的確な指示を伝えるように努めた。結果、他事業所から「信頼できるデイサービス」と好評であった。
- ⑥ 送迎車両が、(株)イチネンとのリース契約になり、定期点検等も管理されて安全に使用することができた。
- ⑦ 毎月の行事営業（第三日曜日）は、企画内容も職員が工夫しご利用者からも大変ご満足頂けた。居宅介護支援事業所からも「非日常的な刺激的な機会ができてご利用者の QOL 向上になっている」との声も頂けた。
- ⑧ 大東・四條畷 医療・介護連携推進協議会の認知症ケア WG では、認知症フェアやイオン認知症相談会、健康寿命延伸フェアなどに参加することで、他事業所や地域の住民へ山麓会の宣伝に繋がった。
- ⑨ 管理者は、四條畷市介護保険事業者連絡会の通所部会部会長として、他所通所事業所との関係性を良好に研修会や定例会等、活躍できた。通所部会長の職は 6 年度で退任させて頂いた。
- ⑩ 離職ゼロを目標にしていたが、常勤 3 名、非常勤 2 名の退職があった。
※今年度新採用 常勤 3 名、非常勤 2 名
- ⑪ デイサービス&ショートステイのご利用者に対して、良質なケアのみではなく、日常生活上の留意点など、情報を共有した個別ケアとサービスが提供できるように努めた。それにより、居宅事業所からの信頼を得て、新規の利用者獲得にも繋がった。

【年間行事報告】

毎月第 3 日曜日	年間	月間
4 月 21 日	お花見（施設内） 組紐ストラップ作り & Ks 慰問	≪行事・各種活動≫ ・誕生日会 ・体重測定（毎月） ・握力測定（毎月）
5 月 19 日	さと外食&職員の演芸ショー	
6 月 16 日	すいとん汁作り & フラダンス慰問	
7 月 21 日	納涼祭 風鈴作り & さくら会慰問	≪会議・研修会≫ ・デイ会議（毎月第 2 月曜日） ・各委員会（随時） ・給食会議（随時） ・施設内研修会（随時） ・動画による法定研修（毎月）
8 月 18 日	クイズ大会&出張デパート	
9 月 15 日	敬老会 式典&演歌歌手慰問	
10 月 20 日	らくらく運動会	
11 月 17 日	おでんバイキング&干支飾り作り	

12月22日 (第4日曜)	クリスマス会 ポインセチアリース作り & おきやんデイズ慰問	※下記別表参照 ・外部研修「BCP 机上訓練」 四條畷事業者連絡会主催
1月19日	新年会 寄せ鍋パーティー	
2月16日	フラワーBOX作り & 京友会慰問	
3月16日	太鼓ストラップ作り & 四條畷吹奏楽団慰問	

【研修実施報告】

	研修内容	実施日
4月	未実施	
5月	未実施	
6月	認知症ケアの実践	6/10
7月	虐待・不適切ケアを防ぐ	7/15
8月	事故防止の知識	8/12
9月	未実施	
10月	プライバシー権と 介護現場における個人情報との関係	10/14
11月	非常災害時の対応	11/11
12月	感染症・食中毒の予防及び、蔓延防止	12/9
1月	緊急時の対応	1/13
2月	未実施	
3月	倫理・法令順守の理解 3/10	3/10

委員会名	開催日
事故・安全対策委員会 毎月開催	第3月曜日（毎月委員会開催） （新規採用時・研修）
身体拘束廃止委員会 5月・7月・10月・1月 開催	第4月曜日（年4回委員会開催） （新規採用時・研修）
高齢者虐待防止 6月・12月 開催	第4月曜日（年2回委員会開催） （新規採用時・研修）
人権擁護委員会 9月・3月 開催	第3 曜日（年2回委員会開催）
感染予防対策委員会 5月・8月・11月・3月 開催	第3水曜日（年4回委員会開催）
褥瘡予防委員会	第3水曜日（年4回委員会開催）

5 月・8 月・11 月・3 月 開催	
BCP（事業継続計画）	4 月（新規採用時・研修）

併設特養と合同での委員会

ヘルパーステーション清滝らくらく苑

《結果》

令和 6 年 5 月末を持って 15 年間運営していたヘルパーステーションを廃業することとなる。大きな問題については、人材不足（既存ヘルパーの高齢化、新たな若い世代のヘルパーが雇用できない等）、介護報酬改定に伴っての報酬の引き下げが主な原因となった。既存のご利用者については、適切に次期サービス事業所への引継ぎを担当ケアマネジャーに協力いただき行うことができた。

《目標達成のための行動報告》

- ① ご利用者、ご家族に介護保険制度を理解していただき、自立支援に向けた見守り援助を行った。
- ② ご利用者に対して、どのヘルパーも同じサービスができるようヘルパー自身が介護保険制度、訪問介護計画を理解できるように意識づけた。

《勉強会・会議報告》

年間研修計画	月間計画
4 月 感染症・食中毒の予防	《会議》 ・ヘルパー会議（第 3 火曜日） ・ヘルパー研修会 ・ヘルパー事業所連絡会（偶数月第 3 火曜日） ・在宅全体会議 ・施設内研修 《行事・各種活動》 ・認知症カフェ ・地域行事への参加
5 月 認知症の事例	

ケアプランセンター 清滝らくらく苑

《結果》

4月から保険者が四條畷市単体となり、介護保険業務の変更など、運営規定や重要事項説明書の作成、差し替えなど大きな混乱もなく行うことができた。地域区分が引き下げられたことによる事業収入の低下も新規利用者を多く受け入れたことにより、あげることができた。

介護保険法、感染症や災害等があっても事業継続が図れるようにBCPについても事業所内で話し合いを行い、利用者に必要なサービスを安定的・継続的に提供できる仕組み作りに取り組んだ。住み慣れた地域においてご利用者の尊厳を保持しつつ必要なサービスが切れ目なく提供されるよう自立支援・重度化防止の取組の推進、必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図れるように、ご利用者やご家族の介護に関する必要性や要望の実現のためにも各種サービス提供機関と連携に努めた。そして、非常勤介護支援専門員の増員と常勤介護支援専門員が全員主任介護支援専門員となった。

《目標達成のための行動報告》

- ① 公正中立・質の高いケアマネジメントの提供
 - ・支援困難者の相談に関しては複数職員体制による支援を行った
 - ・新規相談に関しては断ることなく対応した
- ② 主任介護支援専門員を中心とした人材育成・他機関連携
 - ・事業所内外での事例検討会・OJTによる「人材育成」に参加した
 - ・地域共生社会を見据えた他機関・多職種との連携を図った
- ③ ICTを活用した事業所内・外連携
 - ・事業効率化へのICT活用について検討を行った
 - ・利用者情報の共有によりチームケアマネジメントを心がけた
 - ・ケアプランデータ連携システムの導入には至っていない
- ④ BCPマニュアルの作成
 - ・災害（地震、感染症、水害等）を想定した業務継続計画の作成

《研修報告》

- ① 感染症対策（研修6月21日）
- ② 業務継続計画（研修12月27日）
- ③ 虐待防止（伝達研修4月25日、10月25日、3月14日）
- ④ ハラスメント防止対策（研修8月31日）
- ⑤ BCP研修（6月11日、8月15日実施）
- ⑥ 施設内研修会
- ⑦ 大阪府介護支援専門員更新研修等の法定内研修（1名）
- ⑧ 大阪府主任介護支援専門員研修等の法定内研修（2名）
- ⑨ 大阪府主任介護支援専門員研修等の法定外研修（有効期間5年以内にいずれかの1年度に4回以上かつ12時間以上受講し、計8回以上、かつ24時間以上の受講）（4名）

- ⑩ 四條畷市介護支援専門員連絡会研修（年6回）
- ⑪ 大阪府介護支援専門員協会四條畷支部連絡会研修（10月28日開催）
- ⑫ 日本介護支援専門員協会近畿介護支援専門員研究大会研修（2月15日）
- ⑬ 大東・四條畷 医療・介護連携推進協議会研修（11月30日）

《会議報告》

- ① ケアプランセンター定期会議（特定事業所加算Ⅱ取得必須要件）
概ね、毎週1回（全46回開催）
- ② 法人内各種委員会（広報委員会、新人研修会）
- ③ 在宅会議（全12回開催）

自立支援事業 さんろく

【認知症カフェ】

《結果》

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を視野に入れ、参加してくださる方々の認知症予防と家族の理解と負担軽減、地域における認知症に対する理解の促進等ができるように毎月実施内容を検討し実施することができた。

《目標達成のための行動報告》

- ① 認知症カフェの申請を継続して行い、運営する。
雨塚らくらく苑でのらくらく DACafé の開催は予定通り、月2回実施し、これまでご利用してくださっていた方へは送迎を支援した。
- ② 認知症及び介護に関する相談並びに家族への助言
利用関係者以外でも広く相談を受けることができ、新規の利用があった。
- ③ 認知症に対する正しい理解を促進するための普及啓発
四條畷市内の認知症キャラバンメイトに出前講座の実施を依頼することができた。
- ④ 認知症カフェの普及等のための周知活動
チラシの配布などを行った。

【福祉有償運送】

《結果》

要介護・要支援者等が単独で公共交通機関を利用して移動する事が困難な人を対象に通院、買い物等を目的に施設の車両を使用して有償で送迎を行い、社会貢献ができた。ヘルパーステーション廃業に伴い、訪問介護乗降介助の介護保険法に則った実施はせずに自費でのサービス利用で居宅介護支援事業所の介護支援専門員が業務を行った。

《目標達成のための行動報告》

利用について実施職員が把握し対応できるようにした。